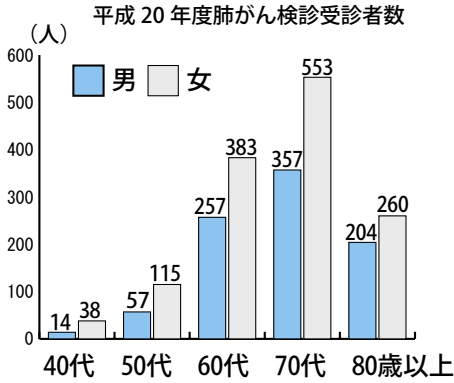


# がん検診を受けましょう！

わが国のがん（悪性新生物）による死亡者数は年間30万人を超え、死因の第1位です。とくに40～60歳代の死因の4割はがんであり、働き盛りの年齢層に多くなっています。

がんは生活習慣病のひとつで、だれもがかかる可能性があります。しかし、がんの研究や治療は進歩しており、がんの早期発見、早期治療をすれば決して怖くない病気になってきました。

周防大島町においても、がんによる死亡が全体の3割を占めており、町では毎年各種がん検診を行い、がん予防を推進しています。



## 平成21年度 各種がん検診等希望調査票は 提出されましたか？

3月初旬に各世帯に平成21年度各種がん検診希望調査票とがん検診のご案内（日程）、健康診査・がん検診についてのアンケートを郵送しています。

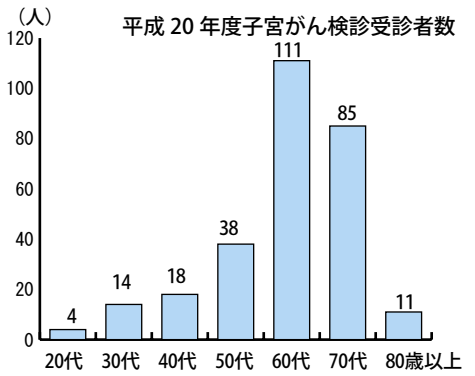
平成20年度から始まった健康診査（特定健診）、各種がん検診の受診率は低い状況です。そこで今回、健診・がん検診を受けやすいものにするために、皆様のご意見をお聞きし、参考にさせていただきたいと思っております。

まだ各種がん検診希望調査票と健康診査・がん検診についてのアンケートを提出されていない方は、各総合支所、各出張所、たちばなケアプラザ、しまとぴあスカイセンターに提出してください。（希望されない方も提出をお願いします。）

町で実施している各種がん検診は集団検診で、町内各地区で実施します。対象年齢は、子宮がん検診が20歳以上の方、それ以外のがん検診は40歳以上の方が対象で、いずれもがんによる死亡が増える年齢です。参考に、がんの中で死亡が一番多い肺がん、近年若い世代に急増している子宮頸がんについて、周防大島町で平成20年度に実施したがん検診受診者数のグラフを掲載しています。どちらも若い世代の受診者が少ないという現状です。

働き盛りの年代は、「忙しい」と自分の健康管理は後回しになりがちですが、自分のために、家族のために、定期的に検診を受けることをお勧めします。ご家族、お友達など誘い合ってぜひ検診を受診しましょう。

■問い合わせ／健康増進課  
☎0820(77)5504



私達は地域のみなさんの健康づくりと安心して暮らせる環境づくりに努めています。2月は春の火災予防運動を行いました。消防署と警察署に連携し、一人暮らしの高齢者の家庭を訪問し、食生活や健康についての話や火災予防に警報器のとっつけ、振り込め詐欺の防止等、高齢者が健やかに暮らし悲しい被害にあわないように見守り活動を続けています。一人暮らしは食事がかたよがりになると思われる方が多く、味噌汁やうどんに野菜をたっぷり入れたり、卵や豆腐、肉、魚などのたんぱく質の食品を食べることも大切であるとお話しました。

明るく楽しい生活をするためには、優しくほほ笑む顔づくりが大切だと同行した方に指導をうけました。ほほ笑んで人に接する事も自分自身を高めることにつながると思ひながら訪問しました。

周防大島町食生活改善推進協議会  
大島支部三浦地区推進員

